

「結城市民劇団」(つむぎ) 第11回公演

結城秀康

— 御手杵の舞 —

「御手杵の槍」は「天下三名槍」の一つとして、旧黒田藩に伝わる「日本号」、本多忠勝が所有した「蜻蛉切り」と並び、称されている。



「御手杵の槍」

穂 1.4m、柄 2.7m、計 4.1m以上 鞘 1.5m以上

絵 佐々木 明

期日 平成29年 **12月9日(土)**

1回目 開場 10:00 開演 10:30

2回目 開場 14:00 開演 14:30

会場 結城市民文化センター **アクロス** 大ホール

平成29年10月1日(日) 発売開始

入場料 全席指定席 **1,000**円 **プレイガイド** 結城市民文化センター「アクロス」 結城観光物産館

主催 結城市民劇団「つむぎ」

共催 NPO法人結城まちづくり研究会 結城朝光会

後援 結城市 結城市教育委員会 (公財)結城市文化・スポーツ振興事業団 結城商工会議所 結城市観光協会
結城市文化協会 (社福)結城市社会福祉協議会 (公社)結城市シルバー人材センター (一社)結城青年会議所
青少年育成結城市民会議 結城市子ども会育成連合会 ゆうき女性会議 結城市婦人学級連絡協議会
結城市老人クラブ 本場結城紬卸商(協) 本場結城紬織物(協) 結城ロータリークラブ 結城市物産協会
結城市仏教会 結城市金融団 結城市建設(協) 県西美術愛好会 (株)TMO結城 ゆうき歩こう会
結城市観光ボランティアガイド協会 結城市ボランティア連絡協議会 ゆうきおはなし会 結城古文書好楽会
わらしべの会 NPO法人ネクストゆうき ハッピーangel YUKO DANSE CREATION

お問合せ：結城市民劇団「つむぎ」事務局 結城市大字結城393-2「結城観光物産館」内 電話 0296 (32) 5330

裏面もご覧下さい。

結城市民劇団「つむぎ」第11回公演「結城秀康」—御手杵の舞—のご案内

<結城秀康の生涯>

- ・秀康、天正2年(1574年)2月、徳川家康の次男として宇布見村(現在の浜松市)で生まれた。(幼名は於義丸)
- ・天正8年(1580年)、家康は跡継ぎに次男の於義丸でなく、三男の長丸(後に竹千代、後に秀忠)を指名した。
- ・天正12年(1584年)、秀吉と家康の戦いが起こり、決着がつかず、和平の形をとった。(小牧、長久手の戦い)その和平の条件として人質として家康から羽柴秀吉に養子として遣わされたのが於義丸である。秀吉は烏帽子親を務め、於義丸を元服させ、秀康の秀と実の父、家康の康の字をとって、羽柴秀康と命名。
- ・天正16年(1588年)、秀吉に長男、秀頼が誕生、秀吉の跡継ぎとなった。
- ・同18年(1590年)、結城家17代晴朝は秀吉が奥州へ御座の途中、一泊の接待の折、秀康を結城家への養子を申し入れ、同年、秀康が結城家18代となる。
- ・慶長3年(1598年)8月、秀吉死去。その後、豊臣政権は内乱が起き体制が崩れたが、慶長5年(1600年)7月、天下統一を目指す家康は上杉勢を攻めるか、石田三成を攻めるか下野国小山で軍議を開き、秀康に上杉勢抑えの大役を命じる。(小山評定)
- ・慶長5年(1600年)9月、徳川家康を中心とする東軍と石田三成を中心とする西軍が美濃国(現在の岐阜県)関ヶ原において“天下分け目の戦い”が起り、東軍の大勝利となる。(関ヶ原の戦い)
- ・秀康は上杉勢の侵攻を抑えた功績により慶長6年(1601年)7月、越前67万石を与えられ越前松平家開祖となる。

◇主な配役

結城秀康 <small>(羽柴秀康)</small>	永塚 実
徳川秀忠	徳竹健太郎
徳川家康	江田 馨
本多作左衛門重次	福田 仁
於義丸 <small>(結城秀康の幼名)</small>	尾見涼哉
豊臣秀吉 <small>(羽柴秀吉)</small>	平山幸伸
豊臣秀次 <small>(秀吉の甥)</small>	佐藤勇真
長丸 <small>(後の竹千代) (徳川秀忠の幼名)</small>	満園琴亜
結城晴朝	鈴木林蔵
福島正則	柏佳伯
黒田長政	坂本健太郎
加藤清正	村山 恭
本多正信	倉持 章
本多富正 <small>(重次の甥)</small>	信末順吾
酒井忠世	宮寺和彦
土井利勝	森山道雄
山内一豊	佐藤勇真
多賀谷権太夫	柏佳伯

築山御前 <small>(家康の正室)</small>	和田 深雪
お万 <small>(於義丸の母)</small>	鈴木 弘美
岡山の方 <small>(秀康の側室)</small>	大森 好江
出雲の阿国	坪松 一江
家臣 A	佐々木義弘
家臣 B	石川好文
家臣 C	中山義道

《子役》

竹千代 <small>(秀忠の子、家光の幼名)</small>	鈴木晃太
喜佐姫 <small>(秀康の娘、秀忠の養女)</small>	鈴木芽依
徳川和子 <small>(秀忠の娘、 後水尾天皇の元で女官)</small>	大越彩夏
踊り	山岸 唱
踊り	関根 凜
ナレーター	平岩千代子

◇アートスタッフ

総監督	柳田芳明
(脚色演出)	
助監督	宮寺和彦
(演出補佐)	
舞台セット	鈴木 勇
音 楽	中見川有紀子 (結城中吹奏楽部)
音 響	楠田 仁 (パクマ)
照 明	高橋一夫 (ステージアート5)
メ イ ク	石塚範子 (ノエビア)
着 付	中久喜吉恵
衣 装	八巻恵美子
小 道 具	森山道雄
武 具	倉持 章
太 鼓	山田悦宏
尺 八	細川 力

◇事務スタッフ

会 長	鈴木林蔵
事務局長	大越隆一
会 計	永塚 実